

声をかけたことで危ない事件となった話も聞くので、うかつに声をかけることは不安なのか、大人も遠慮して子どもに声をかけない、「見て見ぬふりをする」ことが多くなってきたように思

いませんか。しかし、子どもは大人からいろいろなことを教わりながら成長するので、教えてもらわないと分からないことがたくさんあります。そのため、市子ども基本条例では、

電車内の床やコンベエの前などに座り込んでいる若者(学生)を見かけても、注意しないのが当たり前になっているように思います。これって子どもの権利を考えた場合どうなのですか?

■問い合わせ先 子ども育成課 ☎(36)1214

子どもにやさしいまち むなかた 第13回

これってどうなの? 見て見ぬふり



「豊かに育つ権利」の一つとして「良いこと、悪いことや社会のルールについてきちんと教えてもらうこと」が定められています。

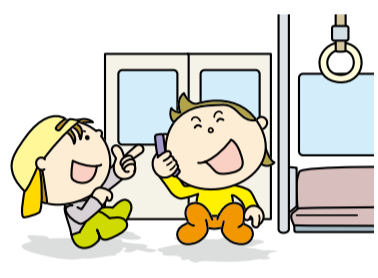
昔の子どもは、地域の大人から声をかけられたり、叱られたり、教えるもらったりして多くのことを学んできました。しかし、核家族化や地域のつながりが希薄になったことで、その機会が少なくなってきたといわれています。

また、気がついたときに子どもに注意する(声かけする)のも大切ですが、小さい時から家庭や地域で声かけをして規範意識を高めることや、大きくなくても声をかけやすい関係になるように地域の教育力を高めることも大切ではないでしょうか。少し声をかけにくい

「豊かに育つ権利」の一つとして「良いこと、悪いことや社会のルールについてきちんと教えてもらうこと」が定められています。

昔の子どもは、地域の大人から声をかけられたり、叱られたり、教えるもらったりして多くのことを学んできました。しかし、核家族化や地域のつながりが希薄になったことで、その機会が少なくなってきたといわれています。

また、気がついたときに子どもに注意する(声かけする)のも大切ですが、小さい時から家庭や地域で声かけをして規範意識を高めることや、大きくなくても声をかけやすい関係になるように地域の教育力を高めることも大切ではないでしょうか。少し声をかけにくい



としょかん へんこう

本にとって水は大敵 大切に扱いましょう

宗像市民図書館 ■問い合わせ先 市民図書館 ☎(37)1321

水と湿気に注意してください

梅雨の季節です。水は生物には必要不可欠なものです。本にとっては大敵です。紙は水分や湿気にとても弱く、一度吸ってしまうと、乾いた時にはしわが寄り、ひどい場合は波打ったようになります。また、ページ同士がくっついてしまい、はがせなくなることもあります。図書館では、本をなくしたり、汚したりした場合、弁償してもらうことがあります。落書きなどを除き、本を汚す原因は、ほとんどが読書中の飲食で、お茶やジュースをこぼしたことによるものです。しかし、本をぬらす危険は、他にも意外なところにひそんでいます。



こんなときも気をつけて

- 雨の日、本を手を持ったままの状態を持ち運ぶとぬれてしまいます。袋やバッグに入れた場合でも、口が開いていると、そこから雨がはいつてしまうこともありますので、しっかり口を閉じましょう
- 本を、ペットボトル(清涼飲料水)と一緒にバッグに入れると、ペットボトルの外側に水滴が発生し、その水分で本がぬれてしまいます。どちらかを袋に入れるなどして、本を守ってください

「市木造住宅耐震改修工事費補助額」が倍増 (平成25年度から3年間限定予定)

市では、地震が発生したときなどに、倒壊の恐れがある旧建築基準法(昭和56年5月31日以前)で建築された木造戸建住宅を対象とした、耐震改修工事費補助制度を、平成23年4月から創設しています。今回、県の補助制度(1自治体3年間限定)を活用し、補助限度額などを増額しました。この機会に、ぜひ耐震改修工事を検討してください。

- 補助金額 耐震改修工事を実施した場合、工事に要する経費の3分の2に相当する額(上限額は60~80万円)を補助(平成25年度から3年間限定予定)
- ▽変更点
 - ①3分の1に相当する額 → 3分の2に相当する額
 - ②上限額30万円 → 上限額60万円
- *市内業者と当該改修工事に係る請負契約を締結した場合は、20万円を上乗せ
- 補助の対象 次の全てに該当
 - ▽市内の昭和56年以前に建築された木造戸建住宅
 - ▽耐震改修工事実施前の耐震診断の総合評点が1.0未満
 - ▽建築基準法、その他の関係法令に違反していない

まずは耐震診断を

耐震改修工事をするには、まず、耐震診断が必要です。耐震改修工事をしない場合も、まずは耐震診断をして、自宅の状態を知ることが大切です。耐震診断費用も補助あり(耐震診断費用の3分の1に相当する額。ただし、耐震改修工事を実施した場合で、上限5万円)。

- 耐震診断に関する相談窓口 住マイむなかた
- ▽☎(37)2525(予約制)
- ▽場所=久原180(市民活動交流館内)
- 問い合わせ先 生活安全課 ☎(36)5050

●結露でぬれた窓のそばや、狭い室内で干している洗濯物のそばに本を置いておくと、本が湿気を吸ってふやけてしまいます。湿気のたまる場所には、本を置かないようにしましょう

河東コミセン・市民図書館連携事業

講演 須恵分館リニューアルオープン記念 「八重の桜~ならぬことはならぬ!~」

NHK大河ドラマで放映中の新島八重をテーマに、歴史の表と裏、激動の時代に生きた人物の精神やメッセージについて講演してもらいます。入場無料。

- 日時 7月13日(土) 10:00~12:00
- 場所 河東コミセン・多目的ホール
- 講師 今長谷(いまはせ)照子さん(元篠栗町図書館副館長)
- 定員 先着80人
- 申込締切日 7月5日(金)
- 申込先 市民図書館
- ▽☎(37)1321
- ①住所②氏名③電話番号を明記して
- ▽ハガキ=〒811-3437/久原400
- ▽☎(37)2956
- ▽✉tosyo@city.munakata.fukuoka.jp
- ▽窓口